

中央公民館等建設基金など廃止

3月12日の本議会で、ふるさと活性化基金、地域福祉基金、温泉施設整備基金、中央公民館基金の廃止、各会計補正予算などを審議し、全員賛成で可決した。

議案と補正の内容 (単位: 万円)

議案番号	会計名	補正の主な内容	補正額	補正後
1号	一般会計補正予算(8号)専決処分	・ふるさと寄付の減額、返礼費の増額等	103	49億6263
2号	国民健康保険特別会計補正予算(4号)専決処分 ～直営診療施設勘定～	・歳出予算の調整	0	4億2364
4号	一般会計補正予算(9号)	・廃止の4基金を財政運営基金及び資産活性化基金に積立 ・中央公民館基本設計委託料の減額 ・明安小、有屋小エアコン工事費の減額等	2億5697	52億1960
5号	国民健康保険特別会計補正予算(5号)～事業勘定～ ～直営診療施設勘定～	・増えた繰越金を国保給付基金に積み立て ・看護師減に伴う人件費の減額等	273 ▲818	1305 4億1546
6号	介護保険特別会計補正予算(4号)	・各種介護保険給付費の減額等	▲1879	8億2449
7号	後期高齢者医療特別会計補正予算(1号)	・最上地区広域連合納付金の減額等	▲235	6375
8号	公共下水道事業特別会計補正予算(3号)	・急修繕料の減額等	▲6	1億5988
9号	水道事業会計(3号)～収益的収支～	・消火栓更新受託工事費の減額等	▲108	1億9829

補正予算に関連する条例の内容

議案番号	条例名	条例の主な内容
3号	ふるさと活性化基金条例等を廃止する条例の設定について	ふるさと活性化基金、地域福祉基金、温泉施設整備基金はその目的を果たしたため、中央公民館等建設基金はその建設を財政状況が改善するまで延期するためにいずれも廃止し、特定目的以外に使えるようにするもの。

1～9号議案に対する質疑要旨

中村忠行議員(議第3号) 財政が落ち着いた時の中央公民館改築にむけた基金の設定は、町長 改築資金として1億円を資産活性化基金に積み立てたが、できるだけ早く積み増しできるよう努める。

高橋浩樹議員(議第3号) 中央公民館改築凍結でオリンピックに使う材料はどうなるのか。町長 森林組合の提供だが、町が買い戻す価格が課題。組合と協議中であり、詳細が決まったら報告したい。

高橋芳夫議員(議第4号) 消防団関連予算は、削減しないように。町長 安全な暮らしに欠かせない組織である。活動が低下しないよう予算を措置する。

早坂憲明議員(議第4号) 中央公民館は33年に発注した方が部材調達に良いとの説明が1月18日にあった。約20日後の2月8日に凍結が説明された。短い期間での凍結への変更と基金の廃止はなぜか。町長 予算編成の中で、歳入と歳出の差が大きすぎ、財源がなかった。優先度や緊急性からの選択となった。

矢口政一議員(議第4号) 第4子以降の出産祝金は縮小されるのか。丹健康福祉課長 第3子が生まれて第4子につながる。枠組みを維持しており、安易に縮小したものでない。

須藤典夫議員(議第4号) 2年目のがん特異的揮発性バイオマーカー 1 同定研究事業への参加者359人、陽性、擬陽性27人の内3人が、がんと確定した。陽性に発注した方が部材調達に良いとの説明が1月18日にあった。約20日後の2月8日に凍結が説明された。短い期間での凍結への変更と基金の廃止はなぜか。町長 予算編成の中で、歳入と歳出の差が大きすぎ、財源がなかった。優先度や緊急性からの選択となった。

寒河江宏一議員(議第4号) 現在の中央公民館は危険だと思いが、修繕や管理の考えは。町長 耐震化されておらず絶対大丈夫だとは言えない。現時点でどのような対策を取るかは言えないが、安全は確保していきたい。



昨春の消防演習の一コマ

常任委員会の活動報告

中央公民館改築は見直し・先送り

総務文教常任委員会

問 中央公民館建設は先送りとなったが、何年後に建設か。

答 建設できる財政環境になるまで見直し、延期となる。来年度以降、公債費の高止まりが続くため、コスト軽減など財政状況の改善に努めていくが、何年後に建設できるか明言できない。

問 中央公民館建設の基本設計は林設計が行っている。どのように実施設計、建設事業などに活用されるのか。

答 出来上がった基本設計は、今後、実施設計の際に十分に尊重されると考える。

問 町財政の中期展望の財政収支及び財政指標見込みを見ると、平成33年度の財政状況は厳しいものがある。地方債は年々減少するが、今、対策を講じれば困難を回避できるというが、その対策とは。



熱のこもった委員会審議

答 平成33、34年に財政運営基金が大きく減少する。今後、何の対策もしないとこのような結果になるので、31年度に、補佐以下の職員で新たに検討を進める。

問 小学校統廃合を何年度までに進めるといふ計画はあるか。

答 31年度中には計画を明示したい。具体的な計画はそれぞれ段階的に検討していく。

危険空き家対策は町の重要課題である

～産業厚生常任委員会～

報告 危険空き家4箇所を総務文教常任委員会合同で確認。時間経過と共に周辺にも影響を及ぼしており、早急な対策が望まれる。

問 高齢者環境整備委員会を設置し、生活支援ハウスの増床を検討するとは。

答 みすぎ荘の施設長との意見交換では増床が必要との認識で一致した。みすぎ荘周辺や診療所の4階も考えられる。

問 ドイツ研修は、来年度は休止となるが今後の再開は。

答 平成4年から開始し、延べ1000名を超えた。やり方は検討するが継続を考えている。

問 がん探知犬のフォローアップを宮下先生に月2回頼むとのことだが、対象となる41名をいつまで診ていく計画なのか。



危険空き家を現地確認(持越地区)

答 当該年度を含め少なくとも3年間は診て頂きたい。

問 街なか公営住宅の家賃はずっと高いままなのか。

答 家賃は経過年数により安くなっている。

問 大堰の鯉を毎年購入しているが、1年で死んでしまうようでは可哀相だ。考えるべきでは。

答 毎年補充が必要なのは確かである。昨年8月豪雨で相当数が流されたが、放流は継続していきたい。